

スイス連邦工科大学 (ETHZ)との共同研究開始について

この度、ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小谷 和朗）は、スイス連邦工科大学チューリヒ校（ETHZ: Eidgenössische Technische Hochschule Zürich）とパワーエレクトロニクス応用技術に関する開発を目的として、共同研究を開始することとしました。

ETHZ は、パワーエレクトロニクス研究分野では、世界有数の規模と実績を誇る Power Electronic System (ETHZ-PES) 研究所を有し、優れた基礎研究をベースに完成度の高いものづくりと事業化の文化を有する大学であり、産業界との緊密な連携も特徴として挙げられます。共同研究では、パワーエレクトロニクス技術を基盤とする新型電源装置等の要素技術とその応用を推進し、当社の基盤技術であるモーションコントロールと組み合わせることにより、精密機器、鉄道車両用機器、商用車用機器、風力発電用駆動装置など広範な当社製品の付加価値向上や新規事業展開を追求します。

これまでも当社は、アクチュエーターを中心とした包括的な研究を米国ワシントン大学と行うほか、風力発電関連事業での研究開発をデンマーク工科大学と進めており、海外研究機関との共同研究による“サテライト型 R&D” 展開を通じて、研究開発過程での多様な技術の取り込みと開発スピードの向上をはかってきました。今般の ETHZ-PES との共同研究開始により、「電気・電子技術」に関する研究基盤を拡充すると共に、グローバル人材の育成・専門技術者の高度化を推進してまいります。

【共同研究の概要】

- [共同研究機関] ETHZ-PES (PES: Power Electronic System Laboratory)
[所在地] Rämistrasse, Zürich (スイス、チューリヒ市)
[研究期間] 2014年3月から3年間
[研究予算] 約1億4千万円
[研究内容] パワーエレクトロニクス技術を基盤とする新型電源装置等の要素技術とその応用